

鹿児島地本だより

第43号
令和3年(2021年)
夏月号

発行元
自衛隊鹿児島地方協力本部
印刷所
南日本出版株式会社



本部長ご挨拶

自衛隊鹿児島地方協力本部
1等海佐 赤岩 英明

いよいよ夏本番を迎え、より一層のご隆盛のごお慶び申し上げます。

鹿児島地本長に就任して2年目を迎えました。私はこれまで地本勤務経験がなかったため、昨年度はただでさえ戸惑うことが多い状況でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大で新たな対応に迫られるとともに、行事の多くが中止や縮小を余儀なくされ、加えて豪雨に伴う予備自衛官等の災害派遣招集や過去最大級の勢力と言われた台風10号の接近など、前例のない柔軟な対応が求められる1年間でした。そのような状況下ではありましたが、各種業務の成果を見てみましたが、募集業務と援護業務では、目標に届かない種目もありましたが概ね目標を達成し、予備自衛官等の確保については目標を達成しました。広報業務についてもSNSの活動を南日本新聞等に取り上げていただきました。これらの成果が評価され陸上幕僚長から第2級賞状が授与されました。隊員の努力も然る事ながら、鹿児島地本の活動にご理解を賜り、応援していただいている皆様のご協力あっての受賞と認識しております。この場を借りて御礼申し上げます。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響下での活動になっておりますが、昨年度の経験や教訓を活かして、創意工夫を凝らした業務を実施していきたいと考えています。その一例をご紹介しますと、WEB説明会を推進するとともに募集相談員の方々にご協力いただきたい内容をまとめた資料の作成を検討しています。また、鹿児島援護センターと鹿児島募集案内所は限られた広さのフロアに同居しており、かつ駐車場が少なくない等の課題がありますので、鹿児島援護センターを本部庁舎に引っ越し、そのスペースを鹿児島募集案内所に活用できるようにして多くの入隊・入校希望者が来訪できる環境を構築することを考えています。このように現状に満足することなく、常に改善の着意を持って各種活動を行い、全ての業務・種目で目標を達成できるように取り組んでいく所存です。

ワクチン接種が開始されていますが、依然として皆様と懇親を深める機会をなかなか設けることができないのが非常に残念ですが、鹿児島地本は県民と自衛隊を結ぶ懸け橋として引き続き活動していきますので、これまでと変わらぬご支援、ご鞭撻ご協力をよろしくお願い申し上げます。



令和3年度募集・援護出陣式

募集課

鹿児島地本は、4月19日(月)、「令和3年度募集・援護出陣式」を開催しました。

この出陣式の目的は、令和3年度の募集・援護業務の開始に当たり、地本としての任務達成、当該業務における与えられた目標の達成及び安全を祈願するとともに、部員全員の士気の高揚及び団結の強化を図るものです。

出陣式に際し、自衛隊鹿児島地方協力本部後援会会長 谷川 洋造様、同副会長 伊藤 正夫様、宮口 修 様のご臨席を賜り、過分なるご祝辞を頂戴して、部員一同、更に身が引き締まりました。

本部長は式辞で、「本年度も引き続き、コロナ禍での業務となるが、情勢は刻一刻と変化するため、昨年度以上に連続情勢判断しながらの対応となるだろう。そのような状況下でも、私が達成したい目標は、東京、大阪、福岡などの高い目標を付与されている地本に匹敵する成果である。全責任は本部長にあるので、諸君はチャレンジ精神を持って募集・援護活動に邁進してもらいたい。」と述べました。

最後に令和3年度の募集・援護の目標達成を祈願してタルマの目入れを行い、部員全員が令和3年度の目標達成に向けて、決意を新たにしました。

令和2年度 優秀募集 相談員表彰

募集課

鹿児島地本が行う自衛官等募集活動への協力及び志願者に関する募集対象者情報の提供を目的として、募集事務所等ごとに各自治体と連名で募集相談員を委嘱させていただきます。令和2年度活動実績に対し、募集事務所等1名基準の表彰者が決まりましたので、ここに紹介させていただきます。

〔敬称略〕

【優秀募集相談員】
山下 ルミ子

【優秀相談員】
薩摩川内出張所推薦 木田 五夫
鹿屋地域事務所推薦 日高 義美
国分地域事務所推薦 池袋 靖彦
大隅地域事務所推薦 平川 忠幸
鹿児島募集案内所推薦 國本 かよ子
奄美大島駐在員事務所推薦 澤山 英樹
種子島駐在員事務所推薦 高石 勝人
徳之島駐在員事務所推薦 吉田 末次

受賞者の方々は、別途、表彰状を贈呈させていただきます。

鹿児島地本のSNSが面白い

広報班

（山形県出身では、難解な鹿児島弁を理解できないことが多いため、鹿児島出身の隊員に鹿児島弁の監修を依頼して、ユニークなツイートで自衛隊をアピールできるように心掛けています。昨年7月の段階で約1万4000人だったフォロワーは6月には約2万6000人と1年でフォロワーを1.9倍に増やすことができました。

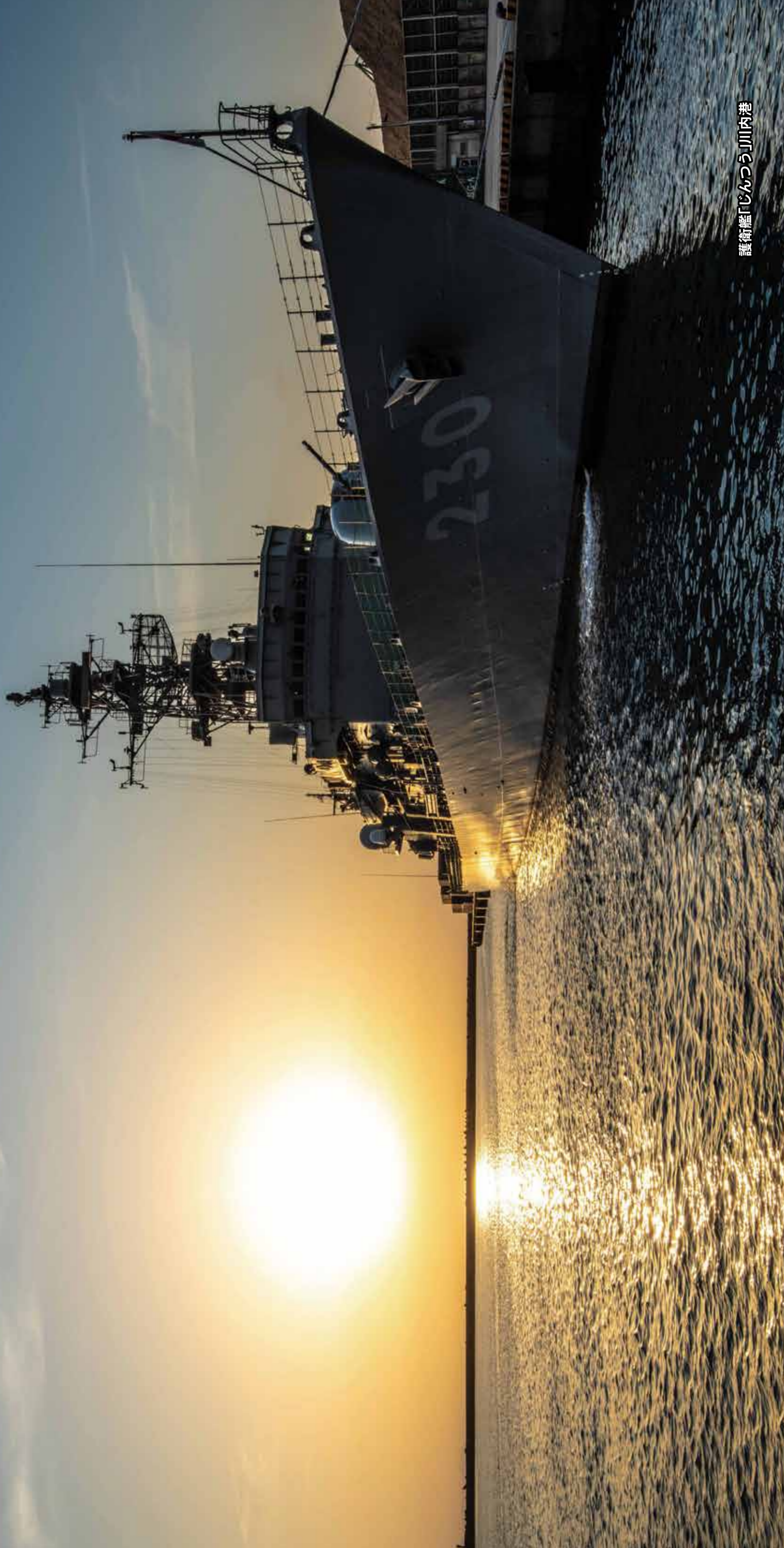
毎日何を投稿するのかを広報班でひねりだしているのですが、面白いネタも、そろそろ尽きそうですので、何かアイデアを思いついた方はぜひ

鹿児島地本広報班へ情報提供をお願いします。また鹿児島地本のSNSを見たことがない方は是非アクセスしてみてください。



3.2.17のツイート

Twitterでは鹿児島県らしさを強調するために「〜でござす」「〜しちりもす」などが全国の地本の中で第2位となっていました。いわゆるインスタ映えする写真を多く投稿



護衛艦「さくら」川内港

息子が防衛大学校に入校して ～母から息子へ～

息子と自衛隊の出会いは本人の記憶にない3歳の時でした。新田原基地航空祭を見たいという親の興味に伴って行きました。私は記念に・・・と思い、戦闘機の横で子供用のパイロット服をカッコ良く着た息子を写真に収め、航空機のものすごい迫力に感動した事を思い出します。

中学生になった息子は自然災害等のニュースで自衛隊を知り、中学3年生の時、防衛大学校のオープンキャンパスに行きたいと言いました。防衛大学校を実際に見学し、様々な事を思い、考え、高校2年生で再度、私とオープンキャンパスに行き、受験を決めました。自衛隊鹿児島地方協力本部の方が防衛大学校や自衛隊の情報を常にくださり、息子は自衛隊入隊への信念と覚悟と確かなものにして受験に臨む事が出来ました。

4月の入校から数カ月、当初は慣れない環境と指導、訓練に疲れ果てた感じを受けましたが、仲間が出来、外出が出来るといなり、また、校友会活動が始まり、充実した毎日を送っている感じが伝わっているように思います。

素晴らしい誇りある職業である自衛隊員になるスタートと来たばかりの息子の成長が楽しみです。遠くから見守り、支え、応援しています。

そして、息子に携わるすべての方々へ感謝いたします。

保護者 岩切 なぎさ
防衛大学校 69期 岩切 勇人

鹿児島地本は、鹿児島県の企業2社において、YouTube 動画「陸上自衛隊西部方面隊援護チャンネル」の取材を実施し、現在掲載中です。

本チャンネルは、退職自衛官の再就職企業において勤務状況取材した動画を、YouTube 上に開設する援護チャンネルに掲載することにより、企業等に退職自衛官の有用性を認識していただくとともに、現職自衛官の再就職準備の参考とすることを目的として、地方協力本部が企業を取材・撮影し、西部方面総監部が動画を編集・掲載したものです。

鹿児島市の中央工業株式会社で行った取材では、新築家屋の給排水配管工事や修理業務で活躍する任期制退職自衛官を取材しました。インタビューでは、「配管工事を通じて、人の役に立っていると実感する時や修理に際し、お客様から感謝と労いの言葉を頂いた時に充実感を感じる。」と語る、退職自衛官の頼もしい姿が撮影できました。

霧島市の株式会社佐々木組では、総務部長として建設の入札手続き、社員の採用・募集及び保険手続き等を行っている定年制退職自衛官を取材しました。この取材では20数年前から退職自衛官を総務事務として雇用している企業と現役時代のスキルを活かし再就職希望する退職自衛官の思いが合致(マッチング)した例を取材することができました。

取材した企業主からは、退職自衛官の仕事ぶりについて、「与えられた仕事以上に現場で奮闘してくれ、周りの社員も見習ってくれるので、会社に非常に良い影響を与えてもらっている。」「真面目で仕事もできて一生懸命。退職自衛官の働きぶりに満足している。」等の声が聞かれました。

鹿児島地本は、企業主や採用担当者の方へ退職自衛官の採用を検討していただくとともに、現職隊員には再就職準備の参考にしてもらうため、今後も引き続き西部方面総監部と連携して撮影・取材を実施し、同チャンネルに掲載していく予定であり、多くの方々に退職自衛官が企業において活躍していることを知っていただきたいと考えています。

是非、ご覧ください

援護課

動画でわかる！自衛官の退職と再就職

インタビューチャンネル
鹿児島地本編

任期制退職自衛官 (中央工業株式会社)
代表取締役社長 (中央工業株式会社)

定年制退職自衛官 (株式会社佐々木組)
代表取締役社長 (株式会社佐々木組)



令和3年度第1回部員集合訓練を実施！ 広報企画室 企画班



鹿児島地本は、4月19日(月)・20日(火)の2日間、令和3年度第1回部員集合訓練を実施しました。訓練では、本部長が、コロナ禍における厳しい環境を克服し全職員が真摯に職務に取り組み、与えられた全ての任務をやり遂げられるよう企画の徹底を図るとともに、募集、援護、広報等の専門的共通の教育を行い職員の仕事遂行能力の向上及び各課等間の相互連携を図りました。

1日目は、3・4月異動による新着任者及び新規採用事務官等に対する新着任者教育及び募集範囲を限定した部員集合訓練を実施し、隊務を遂行する上で部員としての必要な資質及び各種業務に係る識能の向上を図りました。

2日目は、国分駐屯地において第1回体力検定・測定を実施し、自衛官として必要な体力を確認しました。また、「学校教育への協力(防災講話、救急救命法)」に係る部員の能力向上を目的とした衛生救護教育を今年度より新たに実施し、参加者の知識及び練度の向上を図りました。

令和3年度もコロナ禍で募集業務をはじめとする各種業務を遂行することになりますが、連続情勢判断を心掛けながら、部員一丸となって業務に邁進することを決意し、本訓練を終了しました。

予備自衛官招集訓練 援護課予備自班



予備自衛官等は、民間人としてそれぞれの職業に従事し、企業などの一員として勤務しながら、予備自衛官は年間5日間、即応予備自衛官は年間30日間の訓練に出頭することになっており、また、自衛官の経験のない予備自衛官補は、予備自衛官になるための訓練を50日間(技能で採用された方は10日間)受けることになっていきます。

令和2年度予備自衛官招集訓練は、国分駐屯地に約500名、川内駐屯地に約60名、その他県外の駐屯地に約20名、鹿児島地本での1日間訓練に約30名の予備自衛官が出頭し、体育訓練、武器訓練などの各種訓練により練度の維持向上を図りました。

また、平成31年4月には予備自衛官補から予備自衛官に任用された者が、一定の教育訓練を受けたうえで、即応予備自衛官に任用できる制度も新設されており、現在、7名の隊員が即応予備自衛官任用に必要な特技取得教育訓練に真剣に取り組んでいます。

鹿児島地本では、今後も雇用企業の皆様のご理解とご協力をいただきながら、予備自衛官等が出頭しやすい環境づくりに努めてまいります。

母校を訪問！



5月19日(水)に、今年陸上自衛隊に入隊した久木原慎子2等陸士が母校である中種子町種子島中央高校に訪問しました。新型コロナウイルスの影響により在校生との懇談はできませんでしたが、先生から「国のために、一生懸命頑張ってもらいたい」等、応援の言葉を頂きました。
※撮影時のみ、マスクを外しています。

奄美大島で防災教室！



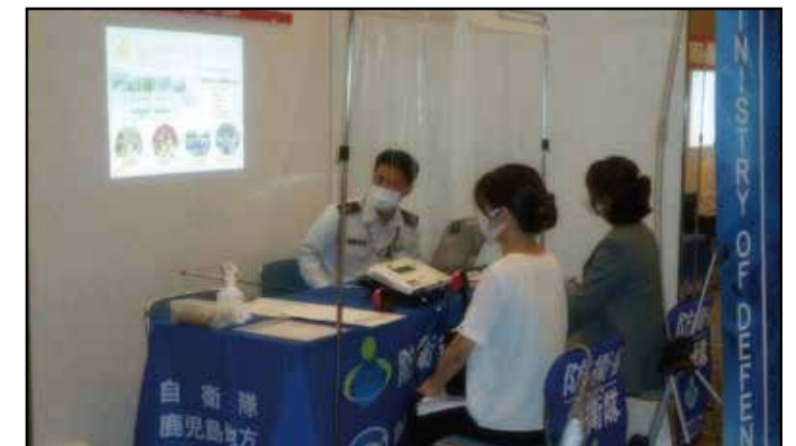
4月5日(月)、大島支庁奄美会館で中学生を対象に「学ぼう！防災in自衛隊」防災教室を開催しました。参加者に災害派遣活動写真や実際に使用する救命ボート等の装備品展示、AEDを使用した心肺蘇生法など体験してもらい、自衛隊の災害派遣活動や防災に対する知識を学んでもらいました。

第2の人生のために、...



4月12日(月)、川内駐屯地で中隊長及び所在部隊援護担当者を招集し、駐屯地援護担当者会同を実施しました。会同では、「就職援護の概要」「鹿児島県の雇用情勢」「合同企業説明会」等の説明や今後の援護業務の質疑応答を行い、疑問解消に努めました。

自衛隊の魅力をPR!!



5月15日(土)、かごしま県民交流センターで行われたマイナビ転職フェアに参加し、転職希望者等に自衛隊の職務内容とその魅力をPRしました。参加者から「男性の職場かと思っていましたが、女性が活躍していることに驚きました。」「体力勝負とばかり思っていたのですが、事務系もあることを知って受験を考えようと思いました。」等の声が聞かれました。

各所、センターの話題

人事往来

自衛官		事務官	
2等陸佐 竹迫 孝一	2等陸佐 北川 友也	2等陸佐 飯塚 桂三	2等陸佐 馬場 裕一
3等陸佐 津島 和也	3等陸佐 北川 友也	3等陸佐 飯塚 桂三	3等陸佐 馬場 裕一
3等陸佐 津島 和也	3等陸佐 北川 友也	3等陸佐 飯塚 桂三	3等陸佐 馬場 裕一
3等陸佐 津島 和也	3等陸佐 北川 友也	3等陸佐 飯塚 桂三	3等陸佐 馬場 裕一
3等陸佐 津島 和也	3等陸佐 北川 友也	3等陸佐 飯塚 桂三	3等陸佐 馬場 裕一
3等陸佐 津島 和也	3等陸佐 北川 友也	3等陸佐 飯塚 桂三	3等陸佐 馬場 裕一
3等陸佐 津島 和也	3等陸佐 北川 友也	3等陸佐 飯塚 桂三	3等陸佐 馬場 裕一
3等陸佐 津島 和也	3等陸佐 北川 友也	3等陸佐 飯塚 桂三	3等陸佐 馬場 裕一
3等陸佐 津島 和也	3等陸佐 北川 友也	3等陸佐 飯塚 桂三	3等陸佐 馬場 裕一

募集情報受付

あなたの周りに「自衛隊に興味がある」「自衛隊ってどんなところだろう」という方がいらっしゃいましたら、左の番号に連絡をください。自衛隊についてお話をさせていただきます。もちろん、読んでいるあなたが気になるなら直接、お電話を！お待ちしております。



お問い合わせ先

本部	電話番号
自衛隊鹿児島地方協力本部	099-253-8920 (代表)
事務所名	電話番号
薩摩川内出張所	0996-22-2401
鹿屋地域事務所	0994-42-4386
国分地域事務所	0995-45-1836
大隅地域事務所	099-482-1405
鹿児島募集案内所	099-251-7802
知覧分駐所	0993-83-1811
奄美大島駐在員事務所	0997-53-9103
種子島駐在員事務所	0997-23-0299
徳之島駐在員事務所	0997-83-3080

鹿児島地本 検索

鹿児島地本 HP